



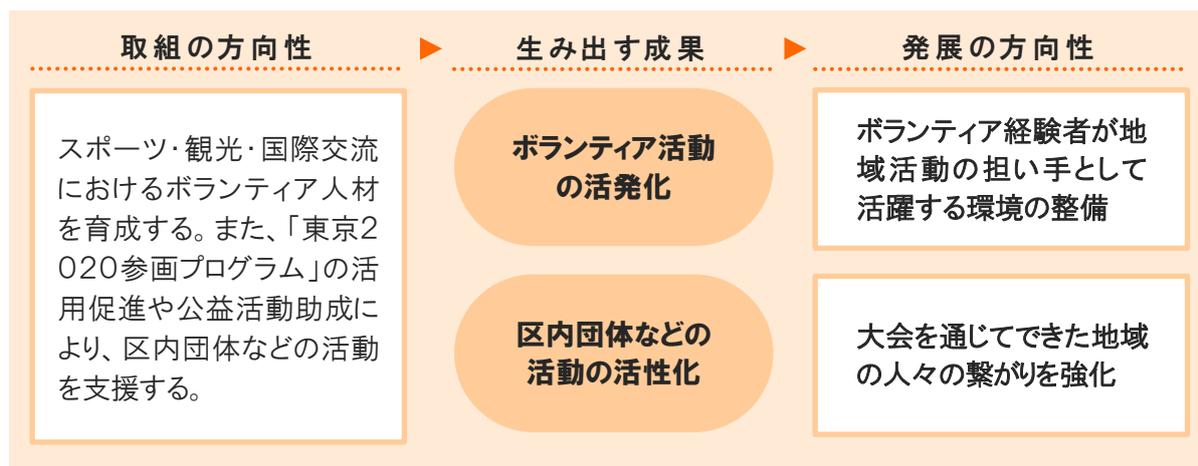
# ポスト2020を 見据えた 中野区の取組

～東京2020大会に向けて～



# I 大会にみんなで参加し、 地域での支えあいが広がるまち

区や区議会、区民、町会・自治会、区内団体、商店街等の様々な主体と共に大会を盛り上げる取組を進めるほか、地域でのつながりやボランティア活動の促進を図る。



## 1

### 大会開催に向けた主な取組

#### 展開 多面的で多様な主体を巻き込んだ取組の推進 / ボランティアの育成の強化

- 東京2020参画プログラム\*認証促進 (政策室、地域支えあい推進室、健康福祉部ほか各部)
- 公益活動に関する政策助成 (地域支えあい推進室)
- オリンピアン・パラリンピアンとの交流、競技体験 (健康福祉部、子ども教育部、教育委員会事務局)
- パネル展示やポスター展 (政策室)
- 区報やホームページなどを活用した戦略的な広報活動の推進 (政策室)
- 大会PRグッズ(のぼり旗、ピンバッジなど)の作成・活用 (政策室ほか各部)
- ボランティアの創設・育成(スポーツ・国際交流・観光など) (健康福祉部、政策室、都市政策推進室ほか各部)
- 大会ボランティア\*や都市ボランティア\*の募集 (政策室ほか各部)
- 地域での課題を解決する活動充実の支援 (地域支えあい推進室)
- 地域活動推進に係る条例制定の検討 (地域支えあい推進室)

\*東京2020参画プログラム…東京2020大会に多くの団体が主体的に参画することを促進するため、一定の基準を満たす取組を東京2020組織委員会が認証する仕組み。

\*大会ボランティア…競技運営・会場案内などの大会運営に携わる(東京2020組織委員会が運営主体)

\*都市ボランティア…国内外からの観光客への観光・交通案内に携わる(東京都が運営主体)

## 2

### 成果 ～2020年の中野～

大会に向けた取組や大会の開催により、2020年の中野のまちは、

- 多様な主体が東京2020大会と繋がりをもった活動を実施し、大会への期待感が盛り上がっている。
- 大会ボランティアや都市ボランティアとして多くの区民が大会に参加している。
- 区民や区内団体の活動や連携が地域の中で広がっている。

## 3

### ポスト2020の取組 ～成果の継承・発展の方向～

#### (1) 取組の方向性

東京2020大会の開催により生み出される成果を継承・発展させ、ボランティア文化が定着し、地域活動・公益活動の担い手が増加した「地域での支えあいが広がるまち」の実現をめざす。

- 東京2020大会でボランティアを経験した区民が、引き続き地域活動や様々な公益活動の担い手として活躍する環境を整え、区民にボランティア文化が広がり、定着するよう支援を行う。
- 大会へ向けた取組や大会の応援を通じてできた、地域の人々の繋がりをより強め、地域での支えあいが広がるまちづくりを進める。

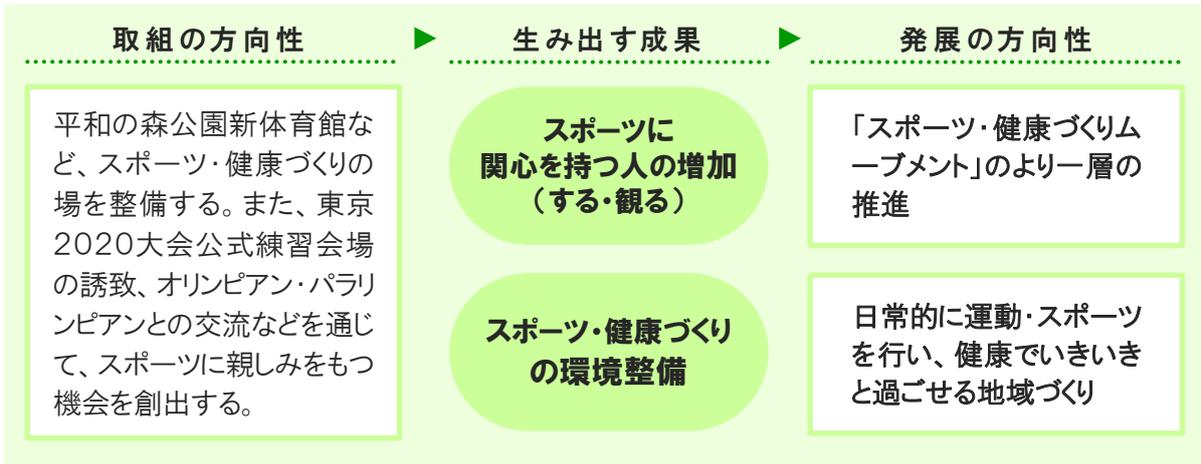
#### (2) 取組の例

- 地域活動・公益活動に係る情報提供の充実 (地域支えあい推進室、健康福祉部ほか各部)
- 地域活動・公益活動の需要と供給のマッチングの強化 (地域支えあい推進室、健康福祉部ほか各部)
- 鍋横・鷲宮区民活動センターの整備 (地域支えあい推進室)
- 北部・鷲宮すこやか福祉センターの整備 (地域支えあい推進室)
- 町会・自治会への加入促進 (地域支えあい推進室)
- 地域での課題を解決する活動充実の支援推進 (地域支えあい推進室)
- コミュニティソーシャルワーク\*機能の強化支援 (地域支えあい推進室)

\*コミュニティソーシャルワーク…支援を必要としている人や地域に対しての援助を通して、地域と人を結び付けたり、あるいは生活支援や公的支援制度の活用を調整したりする等の活動。

## II スポーツ・健康づくりで活力のあふれるまち

だれもがスポーツに親しみ、生涯にわたり、生き生きと健康に生活する活力のあふれるまちを目指し、スポーツ・健康づくりムーブメントを推進する。



### 1

#### 大会開催に向けた主な取組

##### 展開 スポーツ施設等の整備 / スポーツ・健康づくりの環境整備及び普及啓発

- 平和の森公園再整備・新体育館建設 (健康福祉部、都市基盤部)
- 鷺宮スポーツ・コミュニティプラザ整備 (健康福祉部)
- 区立スポーツ施設使用料の軽減 (経営室、健康福祉部ほか各部)
- 地域スポーツクラブ\*の活性化 (健康福祉部)
- 中学校競技力向上事業\* (健康福祉部、教育委員会事務局)
- 未就学児の「運動遊びプログラム」\*の活用 (子ども教育部、教育委員会事務局)
- 障害者スポーツの普及啓発事業 (健康福祉部)
- 機能を特化した公園施設整備 (都市基盤部)
- なかの元気アップ体操・ラジオ体操を通じた健康づくりの推進 (地域支えあい推進室、健康福祉部)
- ウォーキングマップ作成と活用 (健康福祉部)
- オリンピック・パラリンピック教育\*の推進 (子ども教育部、教育委員会事務局)

\*地域スポーツクラブ…区民がそれぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて運動・スポーツに親しみ、健康づくりをする機会を身近な地域で提供する団体。

\*中学校競技力向上事業…東京2020大会開催までに、10競技程度の区内中学校の部活動を対象としてトップアスリートが実技指導を行う。区内部活動の競技力向上及びアスリートの発掘・育成を図る。

\*運動遊びプログラム…中野区の子どもの実態を踏まえて区独自に作成した運動遊びの取組。

\*オリンピック・パラリンピック教育…全ての区立学校(幼稚園、小・中学校)において、5つの資質(ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚)を重点的に育成する。

## 2

### 成果 ～2020年の中野～

大会に向けた取組や大会の開催により、2020年の中野のまちは、

- 大会開催とアスリートのパフォーマンスにより感動と熱気を直接感じ、スポーツへの関心や意欲が高まっている。
- 身近な場所で運動やスポーツを楽しむ人が増えている。また、障害者スポーツの普及啓発が進み、パラリンピックへの関心が高まっている。
- 新しい体育館をはじめスポーツ施設等の整備が進んでいる。

## 3

### ポスト2020の取組 ～成果の継承・発展の方向～

#### (1) 取組の方向性

東京2020大会の開催により生み出される成果を継承・発展させ、生涯を通じてスポーツや身体活動、学習を行うことで、自分に適したライフスタイルを築き、「スポーツ・健康づくりで活力のあふれるまち」の実現をめざす。

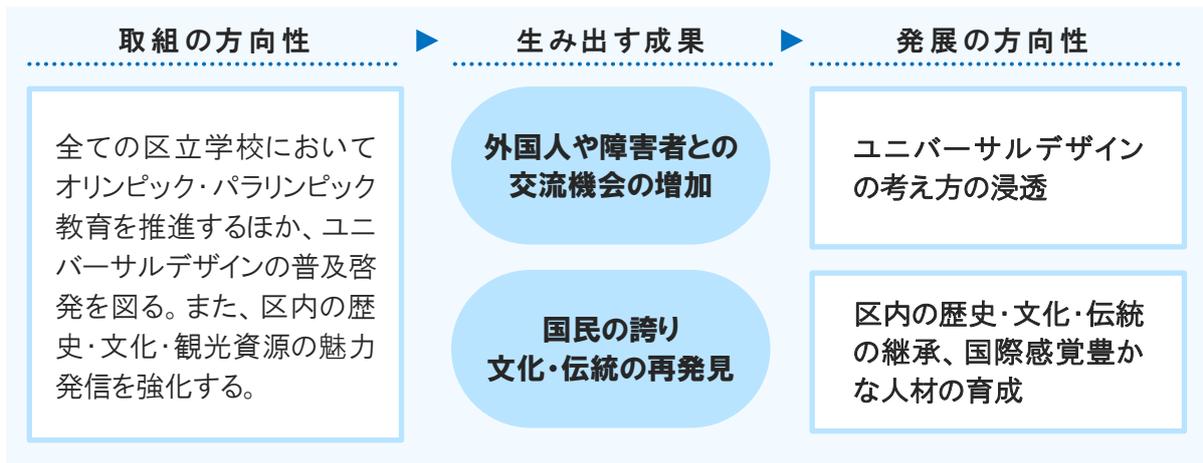
- だれもがライフスタイルに応じて日常的に運動やスポーツを楽しめる環境づくりを行い、区民が主体的にスポーツや健康づくりに取り組む「スポーツ・健康づくりムーブメント」のより一層の推進を図る。
- 定期的に一定の運動やスポーツを行う区民が増え、健康でいきいきと過ごせる地域社会づくりを進める。

#### (2) 取組の例

- 未就学児の「運動遊びプログラム」\*の活用推進（子ども教育部、教育委員会事務局）
- 学校での体力向上の取組の推進（教育委員会事務局）
- 中学校競技力向上事業\*推進（健康福祉部、教育委員会事務局）
- 障害者スポーツの普及啓発事業の推進（健康福祉部）
- スポーツ指導者養成の充実（健康福祉部）
- 大学等との連携によるスポーツに係る専門講座の開催（健康福祉部）
- 地域スポーツクラブによる地域の交流、区民の健康づくり・体力づくり推進（健康福祉部）
- スポーツ施設と高齢者施設や高齢者団体との連携推進（地域支えあい推進室、健康福祉部）
- 民間スポーツクラブと連携したスポーツ施設の有効活用（健康福祉部）
- 北部スポーツ・コミュニティプラザの開設（健康福祉部）
- 区立スポーツ施設使用料の軽減（経営室、健康福祉部ほか各部）
- 平和の森公園の新体育館や多目的広場を活用した区民大会や健康スポーツ教室の充実（健康福祉部）

### Ⅲ 多様性を尊重するまち

個人や社会、伝統や文化の多様性を理解し、相互に尊重しあい、自他を認め合う社会の実現をめざす。



## 1

### 大会開催に向けた主な取組

#### 展開 多様性理解の推進 / ユニバーサルデザインの普及啓発 / 中野の歴史・文化・伝統の再認識

(※再掲を含む)

- 公共サインガイドライン策定 (政策室)
- 友好都市・姉妹都市との交流事業の継続、新たな海外都市との交流創出 (政策室)
- 国際交流ボランティアの創設・育成 (政策室)
- 大会ボランティアや都市ボランティアの募集 (政策室ほか各部)
- ユニバーサルデザイン推進条例制定・計画策定 (政策室)
- 男女共同参画社会に向けた普及啓発 (政策室)
- 障害者スポーツの普及啓発事業 (健康福祉部)
- オリンピック・パラリンピック教育の推進 (国際理解・多様性理解) (子ども教育部、教育委員会事務局)
- 哲学堂公園の国名勝指定や地域の伝統芸能など中野の歴史・文化・観光資源の発掘・魅力創造 (健康福祉部、都市政策推進室、都市基盤部)
- 大会を意識した文化プログラムの実施 (健康福祉部)
- 生涯学習活動・文化活動の促進支援 (健康福祉部)

## 2

### 成果 ～2020年の中野～

大会に向けた取組や大会の開催により、2020年の中野のまちは、

- 外国人や障害者との交流機会が増加し、正しい理解が進んでいる。
- 日本や中野の文化・伝統・歴史を再認識するとともに、外国文化への理解が深まり、国際感覚が身についている。
- ユニバーサルデザインの考え方の普及啓発やボランティア経験により、多様性を尊重する土壌づくりが進んでいる。

## 3

### ポスト2020の取組 ～成果の継承・発展の方向～

#### (1) 取組の方向性

東京2020大会の開催により生み出される成果を継承・発展させ、高齢者、障害者、外国人など、様々な区民に対する理解を深めるとともに、日本や中野の文化・伝統・歴史に対する理解や外国文化への理解を深め、誰もが生活しやすい「多様性を尊重するまち」の実現をめざす。

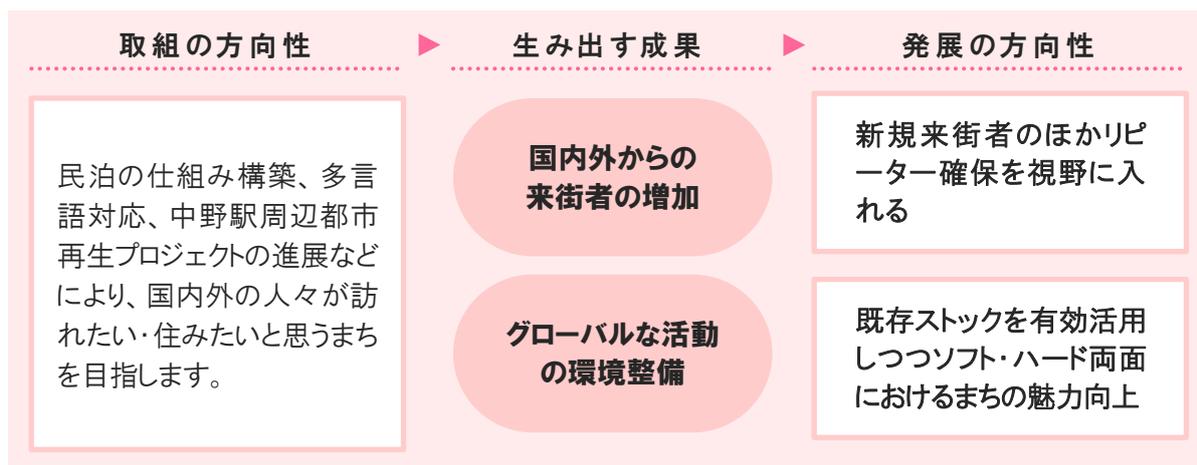
- ユニバーサルデザインの考え方を浸透させ、年齢、性別、個人の属性や考え方行動特性等にかかわらず、すべての人が暮らしやすいまちづくりを進める。
- 学校や地域社会におけるボランティア活動や外国人との交流、日本文化や外国の文化の理解を通して国際感覚豊かな人材を育てていく。

#### (2) 取組の例

- 多言語対応の推進 (政策室)
- 海外都市との交流推進 (政策室)
- 国際交流ボランティアの人材育成・運用 (政策室)
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 (政策室ほか各部)
- バリアフリーの一層の推進 (都市基盤部ほか各部)
- 男女共同参画社会に向けた普及啓発の推進 (政策室)
- 学校における多様性理解教育、外国語活動・英語教育の充実 (教育委員会事務局)
- 哲学堂公園や地域の祭りなどの文化・伝統の保存・継承、魅力発信 (都市政策推進室、健康福祉部、都市基盤部ほか各部)
- 障害者スポーツの普及啓発事業の推進 (健康福祉部)
- 生涯学習活動・文化活動促進支援の推進 (健康福祉部)

## IV 多彩な魅力で選ばれるまち

都市基盤の整備やグローバルな業務商業活動の拠点づくり、観光資源の創造、にぎわい・交流の創出、魅力ある景観の形成、みどりのネットワーク構築、生活利便性の向上など、多角的にまちの魅力を高めていくとともに、内外にその魅力を発信していく。



### 1

#### 大会開催に向けた主な取組

**展開** 多言語・国際化対応 / 歴史・文化・観光資源の魅力発信 / まちづくり事業の推進

(※再掲を含む)

- 公共サインガイドライン策定 (政策室)
- 観光案内標識の設置 (都市政策推進室ほか各部)
- 民泊活用の仕組み構築 (都市政策推進室、環境部)
- ユニバーサルデザイン推進条例・計画策定 (政策室)
- ボランティア(国際交流・観光)の創設・育成 (政策室、都市政策推進室)
- まちづくり事業(中野駅周辺、西武新宿線沿線ほか) (都市政策推進室、都市基盤部)
- 情報基盤(Wi-Fiスポットなど)の整備及び拡充 (都市政策推進室)
- 緑化推進(苗木2020本配布など) (環境部)
- ごみ発生抑制と資源化 (環境部)
- 環境にやさしいライフスタイルの普及・啓発 (環境部)
- 「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」\*の普及啓発 (環境部)
- 公園整備・みどりのネットワークの構築 (都市基盤部)
- 歴史・文化・観光資源の魅力発信 (都市政策推進室)
- 哲学堂公園の文化財修復、学習展示施設整備、国名勝指定 (都市基盤部、健康福祉部)
- 商業環境の整備誘導(商店街多言語対応支援事業、ハラル対応ほか) (都市政策推進室)

\*都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト…携帯電話等の小型家電等から抽出されるリサイクル金属を活用して東京2020大会の入賞メダルを製作する取組。(東京2020組織委員会が実施主体)

## 2

### 成果 ～2020年の中野～

大会に向けた取組や大会の開催により、2020年の中野のまちは、

- 観光や買い物、宿泊、飲食のために訪れる来街者が増加している。
- 多言語対応や案内標識の整備など、観光・ビジネスの受入環境の整備が進んでいる。
- 国内外からの来街者がまちの多彩な魅力を実感できている。

## 3

### ポスト2020の取組 ～成果の継承・発展の方向～

#### (1) 取組の方向性

東京2020大会の開催により生み出される成果を継承・発展させ、国内外の来街者に向けた都市基盤の整備、環境負荷の少ないまちづくりの進展等により、グローバルな業務商業活動の拠点や観光・ビジネス・居住先としての魅力を高め、「多彩な魅力で選ばれるまち」の実現をめざす。

- 既存ストックの有効活用を図りつつ、ハードとソフト両面からまちの魅力向上を、より一層進める。
- 中野区の魅力が内外に広く認知され、観光・ビジネス・居住先として選ばれるまちとなるよう環境整備を推進する。新規の来街者のほか、リピーター確保も視野に取組を進める。

#### (2) 取組の例

(※再掲を含む)

- 外国人の日常生活サポート機能の拡充 (都市政策推進室)
- 多言語対応の推進 (政策室ほか各部)
- 国際交流・観光ボランティア人材育成・運用 (政策室、都市政策推進室)
- 哲学堂公園などの文化・伝統の保存・継承、魅力発信 (健康福祉部、都市政策推進室)
- まちづくり事業の推進(中野駅周辺、野方以西を含む西武新宿線沿線、木造住宅密集地区、交流拠点のまちづくり) (都市政策推進室、都市基盤部)
- 業務・商業、集客交流空間等におけるグローバルな事業展開 (都市政策推進室)
- 情報基盤整備推進 (都市政策推進室)
- 緑化推進 (環境部)
- ごみ発生抑制と資源化の推進 (環境部)
- 環境にやさしいライフスタイルの普及・啓発の推進 (環境部)
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 (政策室ほか各部)
- エリアマネジメントの推進 (都市政策推進室)
- 民間イベントの拡充・育成 (都市政策推進室)